

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【公開番号】特開2009-80069(P2009-80069A)

【公開日】平成21年4月16日 (2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2007-250785(P2007-250785)

【国際特許分類】

G 0 1 P 15/10 (2006.01)

G 0 1 L 1/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 P 15/10

G 0 1 L 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月30日 (2010.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持部と、

前記支持部にヒンジを介して接続された可動質量部と、

前記可動質量部の外側に設けられた振動体と、を有し、

前記支持部は、支持部基部を有し、

前記可動質量部は、前記支持部とは反対側の端部に質量部基部を有し、

前記振動体は、前記支持部基部と前記質量部基部との間に橋渡しされた主振動腕と、前記支持部基部及び前記質量部基部のそれぞれから前記主振動腕に並んで延在され且一端が浮いた副振動腕と、少なくとも前記主振動腕に設けられた励振手段と、を有したことを特徴とする加速度センサ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の加速度センサであって、

前記主振動腕と前記副振動腕の共振周波数が一致していることを特徴とする加速度センサ。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の加速度センサであって、

前記主振動腕は、前記可動質量部と前記副振動腕との間に設けられたことを特徴とする加速度センサ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】加速度センサ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

[ 適用例 1 ] 本適用例に係る加速度センサは、平面内に展開され、加速度を加えることによって振動体の共振周波数が変化することを検出する加速度センサであって、固定端としての支持部と、前記支持部に併設される可動質量部と、前記可動質量部の長手方向側面に沿って延在され、且つ前記支持部と前記可動質量部との間に延在される振動体と、を有し、前記振動体が、前記支持部に連続する支持部基部と前記可動質量部に連続する質量部基部との間に延在される 1 本の主振動腕と、前記支持部基部及び前記質量部基部のそれぞれから前記主振動腕に沿って延在される副振動腕と、少なくとも前記主振動腕に設けられる励振手段と、を備え、前記主振動腕と前記副振動腕の共振周波数が一致していることを特徴とする加速度センサ。また、他の態様では、支持部と、前記支持部にヒンジを介して接続された可動質量部と、前記可動質量部の外側に設けられた振動体と、を有し、前記支持部は、支持部基部を有し、前記可動質量部は、前記支持部とは反対側の端部に質量部基部を有し、前記振動体は、前記支持部基部と前記質量部基部との間に橋渡しされた主振動腕と、前記支持部基部及び前記質量部基部のそれぞれから前記主振動腕に並んで延在され且つ一端が浮いた副振動腕と、少なくとも前記主振動腕に設けられた励振手段と、を有したことを特徴とする。また、前記加速度センサにおいて、前記主振動腕と前記副振動腕の共振周波数が一致していることを特徴とする。